

第3回

作品募集



輝け！いがっ子 フォトコンテスト

■テーマ 輝け！いがっ子憲章

次の7項目のうち
1項目をテーマに選び
それに関連する写真を
お送りください

- ★いのち、水、緑を大切にする子
- ★元気よくあいさつができる子
- ★ありがとう、ごめんなさいが言える子
- ★ひとを認め、ひとを思いやり、ひとの痛みがわかる子
- ★夢に向かって最後まで取り組める子
- ★ひとと力を合わせて、自分のつとめをはたせる子
- ★「ふるさと伊賀が好き」と言える子

- 撮影の際は、被写体の方などに声をかけてから撮影してください
- 応募作品はいがっ子憲章のPR他、広報活動に使用するにあたっては、撮影者の氏名・住所表示（町名までの表示）を行います。また児童生徒の場合は学校名および学年の表示を行います
- ※詳細は市ホームページをご覧ください

【応募資格】

市内在住・在勤・在学の方

【応募作品】

- ◆デジタルカメラ・フィルムカメラで撮影し、カラー・モノクロは問いません
- ◆サイズは2L～4つ切りとします
- ◆未発表作品のものに限ります
- ◆写真の裏面に・題名・撮影年月日・いがっ子憲章の該当する項目・住所・氏名（ふりがな）・電話番号・学校名・学年（児童生徒の場合）をご記入ください

【応募期間】

4月15日（木）～5月28日（金）必着

【賞】

最優秀賞1点（賞状・副賞1万円相当）、優秀賞2点（賞状・副賞5千円相当）、入選10点（賞状・副賞）を贈ります。

【審査および発表】

伊賀市青少年育成市民連絡会議役員および写真の専門家により厳正に審査の上、直接本人に通知します。

【提出先・問い合わせ】

教育委員会生涯学習課

☎22-9679 FAX22-9691



伊賀市職員の取り組み

行政職員である市役所職員は、あらゆる差別を許さない、そして差別をなくすため行動に移せる職員でなければなりません。しかし、職員の中には、人権や差別についての知識があっても、差別をなくすために意思や態度に表すことや、行動に結びつけることが十分できていないといった面も見受けられます。そこで、すべての職員が人権・同和問題を正しく理解すること、それぞれの仕事の中に活かしていくるよううにすることを目的として、市では職員同和問題研修会を毎年開催し、職員全員が学んでいます。特に、日本固有の人権問題である部落差別についての理解を深め、気づき、行動できる職員を目指して、差別の現実や実態について研修し、取り組んでいます。

明日に向かって

～差別をなくしていくために～

だと思っていることが侵害され、たとえば就学、就労、結婚問題などで不当な扱いを受け苦しんでいる人たちがたくさんいます。そうした事実がある以上、市民の皆さんと直接関わる市職員は、さまざまな人権問題に直面した場合に、職員として、また、地域の一員としての立場で適切な対応ができるように、そしてあらゆる差別の撤廃に向けて、それぞれが行動しなければならぬと考えています。

また、「伊賀市における部落差別をはじめとするあらゆる差別の撤廃に関する条例」では、市は差別をなくすために必要な施策を進め、市民の皆さんはその施策に参加し協力していただくことを定めています。差別のない明るく住みよい社会を実現するために、市民の皆さんがそれぞれ暮らしている地域の中の、あらゆる差別の現実を見つめ、その撤廃に向けて取り組むことが必要ではないでしょうか。

（本庁職員課）

■このコラムは毎回いろいろなテーマで人権についてお話しています
ご意見などは本庁人権政策課 ☎22-9631 FAX22-9649 ✉jinken@city.iga.lg.jpへ

- 上野図書館 ☎ 21-6868
- いがまち公民館図書室 ☎ 45-9122
- 島ヶ原公民館図書室 (島ヶ原会館内) ☎ 59-2291
- 阿山公民館図書室 (あやま文化センター内) ☎ 43-0154
- 大山田公民館図書室 (大山田教育センター内) ☎ 47-1175
- 青山公民館図書室 ☎ 52-1110

図書館だより

Library Information

★新着図書紹介 (上野図書館)

■ 一般書 『新・がん 50 人の勇気』 柳田 邦男／著
昭和天皇、本田美奈子さん、手塚治虫さん……がんを発病した、五十余名の著名人。彼らの、告知後の生に迫るドキュメンタリーです。

■ 一般書 『春夏秋冬餅レシピ 1 年中食べたい餅料理』 齊藤 宗厚／著
一年中楽しめる、お餅のアレンジレシピを紹介している本です。材料はどれも、身近なものばかり。まだ冷凍庫にお餅が残っている方、ぜひどうぞ。



■ 児童書 『ぼく、歌舞伎やるんだ!』 光丘 真理／文
こども歌舞伎に入った子どもたちが、大舞台に立つまでの数か月を描いたルポルタージュです。ごく普通の小学生だったみんなが、伝統文化を学んでいく様子や、舞台の裏側(お化粧の方法など)が詳しく描かれていて、楽しめる読み物になっています。

■ 絵本 『コドリーロのおやつ』 ちば みなこ／絵
ワニのコドリーロは、おなかがペコペコ。ママは、たまごのお世話で忙しいので、コドリーロは一人で、おやつを探しに行きました。だけどみんながくれるのは、ワニが食べられないものばかり…。ほのほのした絵本です。

3月の読み聞かせ

開催日	会場	時間	催物	*は読み手
3日(水)	ふるさと会館いが小ホール	10:00~1時間程度	絵本の時間	
13日(土)	上野図書館2階視聴覚室	14:00~30分程度	おはなしの会	
16日(火)	阿山公民館図書室読み聞かせ室	10:30~30分程度	読み聞かせ会	*読み聞かせボランティア「はあと&はあと」
17日(水)	上野図書館2階視聴覚室	15:00~30分程度	えほんの森	*読み聞かせボランティア「よもよも」
21日(日)	阿山公民館図書室読み聞かせ室	10:30~30分程度	読み聞かせ会	*読み聞かせボランティア「はあと&はあと」
24日(水)	青山公民館図書室絵本のコーナー	10:30~30分程度	大きな絵本の読み聞かせ会	
27日(土)	大山田公民館図書室えほんのへや	10:30~30分程度	おはなしたいむ	*おはなしボランティア「きらきら」
27日(土)	島ヶ原公民館図書室	10:30~30分程度	絵本の時間 「ネエよんで」	
27日(土)	上野図書館2階視聴覚室	14:00~30分程度	おはなしの会	

★絵本の読み聞かせや紙芝居、手遊びなどをします



の不安定狭心症といえます。いずれの狭心症も検査による正確な診断と、診断に応じた適切な治療が必要です。労作性狭心症であれば、運動負荷試験や造影冠動脈C T検査を行い、胸痛発作・心電図変化・冠動脈の狭窄の有無を評価します。不安定狭心症であれば、心筋梗塞に移行する危険が高いことから入院治療とします。検査の結果、狭心症が疑われる場合には冠動脈造影検査を行います。冠動脈造影検査は手首・肘・足の付け根

狭心症

聴診器 市民病院だより



心臓に栄養を送っている血管を冠動脈といい、糖尿病・脂質異常症(高脂血症)・高血圧などのため、冠動脈プラークと呼ばれる「血管の垢」が蓄積し、狭窄してくと胸痛発作が生じ、更に閉塞してしまつと心筋梗塞が生じます。体動時に生じるものを労作性狭心症、安静時にも生じるものを不安定狭心症といえます。いずれの狭心症も検査による正確な診断と、診断に応じた適切な治療が必要です。労作性狭心症であれば、運動負荷試験や造影冠動脈C T検査を行い、胸痛発作・心電図変化・冠動脈の狭窄の有無を評価します。不安定狭心症であれば、心筋梗塞に移行する危険が高いことから入院治療とします。検査の結果、狭心症が疑われる場合には冠動脈造影検査を行います。冠動脈造影検査は手首・肘・足の付け根

の動脈から冠動脈までカテーテルと呼ばれる管を入れ、造影剤を直接冠動脈に注入する検査です。冠動脈造影検査にて胸痛の原因となるような狭窄が認められた場合には、手術の方法として経皮的冠動脈形成術(PCI)か、冠動脈バイパス手術(CABG)を選択して頂きます。PCIは病変部位をバルーン(風船)で拡張し、その後ステントと呼ばれる金属の網で裏打ちをしていく手術のことです。CABGは大動脈から分岐している血管を直接冠動脈に吻合したり、手足の血管を剥離してきて、大動脈から冠動脈までつなぐ手術のことです。

PCIとCABGの治療成績はほとんど変わらず、病変に応じて患者さんが安全に手術できる方を選択しています。狭心症の治療において一番大事なことは生活習慣の改善です。冠動脈のプラークは、糖尿病・脂質異常症(高脂血症)・高血圧などの血管を傷つける因子が多数揃うことで形成されてくるので、健康診断などで指摘された場合には、放置せず必ずかかりつけ医に相談してください。

内科医師 山里将一郎